

## 政策対話（教育委員会事務局）の概要

### 1 テーマ

「若者たちが考える学びの改革」

### 2 実施概要

#### (1) 日 時

令和4年6月14日（火）16時から18時

#### (2) 場 所（実施手法）

長野県庁（Zoomによるオンライン開催）

#### (3) 参加者（視聴者）

10名（中学生、高校生、大学生、専門学校生）

県側：内堀教育長、酒井教育長職務代理人、中川教育委員、今井教育次長

### 3 対話での意見（概要）

区 分	意 見	意見に対する県の考え方	令和5年度予算への反映
「探究」活動を通して身につく力、「探究」のあり方の課題などについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らテーマを決め、調べ深めていく「探究」活動で、自分たちでも学校や社会に貢献できることに気づき、将来の進路や職業を考えるきっかけになった。</li> <li>・一人ひとりの興味関心を大事にした授業や学校活動であれば、どんな事でも楽しく突き詰められる。</li> <li>・「探究」に取り組む中で、自ら行動し、自ら発信する力が身に付いた。</li> <li>・「探究」を難しいものだと感じている生徒も</li> </ul>	<p>児童生徒一人ひとりの意見を大切に受け止め、すべての児童生徒が充実感を持って学べる環境を作っていくことが重要であるということを改めて認識いたしました。</p> <p>今後も様々な意見交換の機会を設け、次期教育振興基本計画の策定等に生かしてまいります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高校生学びのフォーラム長野」と「信州学」推進事業【9,773千円】</li> <li>地域に根差した探究的な学びの推進を支援し、各校の探究的な学びの質を高めるため、学校の枠を超えて学びの成果を発表し、互いに自らの成長の方向性を確認する機会を提供します。</li> <li>・特色ある私学・民間等と連携した「探究」研修プログラム開発運用事業【5,558千円】</li> <li>・「学びの改革」フロンティアスピリッツ事業【974千円】</li> </ul>

	<p>多い。教員やサポーターに気軽に相談できる環境や、仲間と協力し合える授業のあり方、興味があることをもっと自由に追求できる雰囲気があればよいのではないか。</p>		<p>探究を中核とした学びの改革を推進するため、教員研修の充実や私立学校等と連携した教員養成研修プログラム開発を実施します。</p> <p style="text-align: right;">など</p>
<p>教員の関わり方について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が主体的に学べるよう見守り、支えてくれる一方で、生徒だけでできないことは助けてくれる。やる気を引き出してくれる存在。</li> <li>・先生たちは研修や事務を多く抱えている。教員が「教える」ことに専念できるよう、働き方を改善してほしい。</li> <li>・行き詰まった時、先生や地域の方々分け隔てなく相談に乗ってくれる環境であって欲しい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校高学年における教科担任制推進事業【382,500 千円】 授業の質の向上や教員の担当授業時数軽減等による教員の負担軽減等を図るため、小学校高学年に専科指導教員を配置します。</li> <li>・教員業務支援員配置事業【361,090 千円】 教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できるよう、授業以外の諸業務を補助的に行う教員業務支援員を配置します。</li> <li>・部活動指導員任用補助事業【44,846 千円】</li> <li>・高等学校における部活動指導員配置事業【1,900 千円】 部活動の充実と、教員の部活動指導の負担軽減を図るため、公立中学校・県立学校への部活動指導員の任用を支援します。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<p>地域人材の学校への活用について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校活動をより主体的に深め、楽しむためには、先生や地域の方々のサポートが不可欠。</li> <li>・地域人材を活用することは、先生の負担軽減にもつながるのではないか。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と社会をつなぐ連携コーディネーター配置事業【2,742 千円】 県立学校と地域連携の研究・深掘のため、市町村や外部アドバイザー等を交え、ワーキンググループを設置します。県立学校と地域連携の効果的な実践例を</li> </ul>

	<p>・むやみに地域の方を学校へ入れるのではなく、目的や役割を明確にした上で、学校運営に協力してもらうことが必要。</p>		<p>通じた検討を進めるため、一部の学校にコーディネーターを先行配置し、地域企業、自治体等が協働で構築するコンソーシアムを支援します。</p> <p>・信州型コミュニティスクール促進事業【851 千円】  学校運営参画、協働活動、学校関係者評価を一体的に実施する信州型コミュニティスクールを推進するため、研修会やアドバイザーの派遣等の支援を実施します。</p> <p>・地域スポーツ・文化クラブ活動体制整備事業【43,559 千円】  地域全体で中学生の多様なスポーツ・文化活動の機会を確保するため、運営組織やスポーツ団体等の持続可能な運営に向けた体制整備や指導者の確保等を支援します。</p> <p style="text-align: right;">など</p>
--	---	--	--